

vol.7 Saishigakuhoren NEWS

埼玉私学保連ニュース

平成22年度会長就任にあたって

埼玉県私立小学校中学校高等学校
保護者会連合会

会長 早船 雅文



平成22年6月6日に「さいたま市文化センター」での定期総会で、会長に再任されました早船です。埼玉県私学保護者会連合会は、平成19年2月設立総会以来、4年目の活動がスタートしました。「私学振興」と「青少年健全育成」を目指し、具体的な活動として「公立学校と私

**平成22年度埼玉県私学振興大会は、
11月18日（木）午後2時より
南浦和の「さいたま市文化センター」
で開催されます。
多数の参加をお願いします。**

立学校間の埼玉県からの公費助成格差の是正の
請願署名活動」

「私立学校振興大会」そして、会員のための「研
修会」の開催などを行ってきました。

昨年は、「私学教育振興のため、公費補助のさ
らなる充実を求める」埼玉県知事への要望書名
と、埼玉県議会議長への請願署名活動を行い、
共に43万を超える署名を集めることができました。
そして、12月の県議会で採択され、国の高
等学校等就学支援金の創設を踏まえた埼玉県独
自の父母負担軽減を中心とした補助制度の一層
の充実がなされました。皆様のご協力、誠にあ
りがとうございました。

しかし、他の都道府県と比べまして、埼玉県
は生徒一人当たりの教育・私学関連予算はまだ
まだ低いほうです。埼玉県私立中学高等学校協
会と協力して、これからも更なる公民間格差是
正の活動を続けてまいりますので、ご協力をお
願いします。

また、全国組織の日本私立小学校中学校高等
学校保護者会連合会の構成団体として、私学振
興活動を更に進めていきたいと思えます。

平成22年10月発行
発行／埼玉県私立小学校中学校高等学校
保護者会連合会
所在地／さいたま市浦和区高砂4-13-20
埼玉私学会館内
TEL048-866-4478
FAX048-866-4479

平成22年度定期総会

6月6日（日）にさいたま市文化センター3階の大集会室において、埼玉私学保連の第4回定期総会が開催されました。当日は、加盟校38団体中33団体、3校のオブザーバー参加を含む90名が参加し、総会は有効に成立いたしました。なお、今年度より狭山ヶ丘高等学校、聖望学園中学・高等学校の2校が加盟しました。

早船会長の挨拶、来賓挨拶と進み、議長選出後21年度事業、決算、監査が報告され、それぞれ承認されました。第4号議案として、22年度役員（案）が提案され満場一致にて可決されました。退任役員を代表して待鳥副会長が、新任役員を代表して早船会長が、それぞれ挨拶をしました。その後、22年度事業計画案、予算案がそれぞれ提案され、承認されました。全ての議事終了後諸連絡、報告があり無事閉会となりました。

総会后、今年のはじめての試みとして、参加者全員による交流会が2部構成で行われました。1部は、意見交換会として、活発な意見が出され、それぞれの学校の実情を知ることができました。2部は、会費制で飲食を伴った交流会で、より親近感を覚える場で、隣り合った学校同士忌憚の無い意見交換が行われました。



平成22年度埼玉私学教育研究大会

「保護者と教師の集い」

8月24日（火）にラフレさいたま3階「櫻ホール」にて、埼玉私学教育研究大会「保護者と教師の集い」が開催され36校400名弱の参加がありました。

午前中は、セレモニーに続き元Jリーガーでパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表の京谷和幸氏による記念講演「出会いに感謝」が行われました。

京谷氏ご自身のサッカー選手としての活躍から、不運な事故による挫折、そこから立ち上がるまでのストーリーと、それに関わる様々な人との出会いがなければ今の自分はないという、運命的な出会いの数々のお話の中に、出会いの大切さを述べられました。

午後は、「子供の自立心を育てるホップステップジャンプ」をテーマに保護者12名を交えたパネルディスカッションが行われました。子離れできない親の状況や、大学での実態の紹介。まずは、家庭内での自立、学校での社会性への対応訓練、失敗経験、成功体験の積み重ねることで自立していく子供たちへの親の係わり方をどの様にすればいいのか考える機会となったと思います。



活 動 の 報 告

平成22年度日私学保連総会・ 研修会に参加して

副会長 浦部 真理子

7月15・16日早船会長と共に、日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会の平成22年度総会・研修会（岡山大会）に参加を致しました。岡山駅前の《ホテルグランヴィア岡山》を会場に、『私学が育む未来に輝く人づくり』をテーマに行われました。

15日の総会は、日私中高連会長の吉田晋様を始め、岡山県選出の国会議員・県知事・県議会議員などの来賓を迎え、前年度の事業及び決算・監査報告、今年度事業計画・予算案などの承認がなされました。また来年度の総会・研修会の開催地を北海道札幌市に決定した旨の報告がされ、役員の変更・会則の一部変更の承認がなされました。最後に総会決議がなされ閉会となりました。

夕刻よりの懇親会に先立ち、生徒による部活動発表がありました。先ず岡山学芸館高等学校・清秀中学校箏曲部によるお琴の演奏がありました。曲目は『5重奏曲』。伝統文化に根ざしながら、新しい技術や演奏方式をとり入れた曲目で、日々の研鑽が伺われる名演奏でした。次は就実高等学校・中学校吹奏楽部による演奏。創部50年を迎えた歴史ある部で、学校が昨年男女共学となり男子部員も加わり、中高合わせ95名で活動しているそうです。この日は会場の広さの都合もあり選抜チームによる演奏となりました。ソロパートあり手拍子ありの力強い演奏に会場がおおいに盛り上がりました。

16日は研修会が開催されました。午前は「私学における伝統と創造」―教育の備前型と備中

型一と題し、就実大学前学長の柴田一先生による講演がありました。午後は「私学の現状と課題」―保護者会に望みたいこと一と題し、日私中高連副会長・山中学園理事長の山中幸平先生による講演がありました。

関東地区代表者及び研修会 神奈川大会

8月27日に日私学保連関東地区代表者会研修会神奈川大会が行われました。埼私学保連からは早船会長・伊藤事務局長以下7名で参加致しました。代表者会においては協議報告事項として、①関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会会則の一部変更。②「特色ある保護者会活動及び課題」と題して各県との情報交換。③次期開催県が埼玉県である。（順番持ち回り）以上3点について協議・承認・報告が行われました。

研修会は『ケータイ・インターネットにおけるトラブルと対策』と題し、NPO情報セキュリティフォーラム理事の植田威氏による講演が行われました。当初、「また携帯やネットの話?」と思っていたのですが、良い意味で裏切られました。聞き手を飽きさせない話術は勿論の事、携帯やネットについて親の知らないこと、大人の想像を超える携帯やパソコンの機能等々、驚かされるお話ばかりで1時間がアツという間に過ぎてしまいました。もっとお話を聞きたかったと思います。

来年は埼玉県が開催地です。埼玉らしい研修会にしたいと思います。



保護者会の 活動紹介

第2回目

獨協埼玉中学高等学校PTA

本校のPTAは会員数1500名程で、各学年の6委員会と広報委員会の7委員会で構成され、委員数は93名で、各正副委員長と本部（会長、副会長、会計、庶務、会計監査）からなる運営委員会が中心となり各事業を執行しています。運営委員会には、校長先生並びに担当の先生も出席されます。

活動は、まず、5月に行われる定期総会で新年度が始まり、夕方には、新旧委員さんの歓送迎会が催されます。

同じ5月には、PTA主催の講演会も開かれ、毎回会員の半数以上の方が参加され盛況を博しています。

7月には、同じ学園内の獨協大学見学会も行われます。そして夏休み明けの9月の蛙鳴祭(文化祭)では、PTA食堂を開店しカレーを2日間で1600食を調理販売します。(各委員さん相互の親睦を目的にしています)また同時に、「PTAバザー」の開催や、「制服リサイクル」で回収した制服などの引渡しも行ないます。

年が開けて、2月には、校内マラソン大会の時に完走した生徒たちに豚汁を振舞います。この時も朝から1600食余りを調理します。



そして3月の卒業式には、中高それぞれで卒業を祝う会を企画運営します。

以上が主だった事業ですが、その他にも各クラスなどで開催される「茶話会」、「獨玉探検隊」(授業参観)、各種講習会などが行われています。

また、年間の予算組や、PTA活動対象の障害保険の加入なども行っています。

平成22年度

埼私学保連役員と理事

会 長	早船 雅文	(開智)
副会長	浦部 真理子	(浦和実業)
	島村 健	(大妻嵐山)
	藤井 幹之進	(獨協埼玉)
	山下 全代	(狭山ヶ丘)
会 計	前田 典子	(小松原)
	大貫 優子	(昌平)
書 記	根岸 澄江	(小松原女子)
	岩崎 陽子	(大宮開成)
理 事	田島 勇輔	(西武台)
	関口 和弘	(武南)
	島野 知二	(山村国際)
	山本 真由美	(川越東)
	齋藤 佳世	(川越東)
	飯塚 幸一	(東農大第三)
	並木 謙一	(東京成徳深谷)
	石戸 隆明	(昌平)
	橋爪 早苗	(狭山ヶ丘)
監 事	山口 真司	(大妻嵐山)
	佐藤 泰彦	(正智深谷)

以上20名で頑張っていきますので
どうぞ1年間ご協力お願い致します。